

市民記者が行く！広報サポーターレポート

西尾市民の一体感を感じたー 市民総踊り「踊ろっ茶・西尾!!」



広報サポーター
神原勇人さん(寺津町)

7月17日に開催された第22回市民総踊り「踊ろっ茶・西尾!!」の取材を機に、名鉄西尾駅西側一帯の会場を約7年ぶりに訪れました。

午後5時からのオープニングセレモニーの前に、最初に審査員の席が上がったのは榊原康正市長でした。榊原弘西尾祇園祭実行委員長など審査員の皆さんも続き、大村秀章県知事も母校・西尾高校の縁で臨席されました。

そして、CBCアナウンサー・沢朋宏さんの開会宣言により、市民総踊りが始まりました。参加した20グループは塩町通りの審査員席の前をはじめ、本町通り・中央通り・永楽通りを舞台に約90分間、踊りまくりました。みんな持てる力を精一杯に出して、頑張りました。

午後7時45分、完全に日が落



1



2



3

ちた歴史公園で表彰式が行われ、審査結果が発表されました。

●ジュニア部門

▼グランプリ：SUPER DAN

（花ノ木っ子(花ノ木小

学校/写真①)

▼準グランプリ：福南キッズ

ミッチャ(福地南部小学校/

写真②)

●一般部門

▼グランプリ：西三河農業協

同組合(写真③)

▼準グランプリ：エムアイシ

ーグループ(写真④)

ジュニア部門では、子どもたちの息のそったパフォーマンスもさることながら、先生や父親・母親の奮闘ぶりが印象に残



4

りました。一般部門では、グランプリに輝いた西三河農業協同組合の「賞金のうち5万円をJA愛知中央会を通じて、震災に遭った熊本県へ寄付させていただきます」とのコメントに大変感動しました。

最後に、「西尾祇園祭は西尾中学校区・鶴城中学校区のお祭り、そのほかの地区には縁のないものといった考えがしまいがちでしたが、今回の取材を通じて、西尾地区のみならず、一色・吉良・幡豆地区を含んだ西尾市民の一体感を感じ取った次第です。

広報サポーターは、公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で、市内各地のイベントなどを取材していただきます。